議席1番　濵野　健司　議員

○期末手当の加算給について

Q.町長の期末手当の加算給が復活したが、町長はどのようにお考えか？

A.行政改革の一環として平成17年から5年間凍結してきたが、この間、職員の削減等一定の成果が得られ、凍結期間が終了したことにより元に戻させていただいた。

［町長］

Q.議員はこの加算を見送り、今年度加算をしなかったが、どう思うか？

A.議会からの申し出は大変ありがたく受けさせていただいた。

［町長］

○保育所の入退所の基準について

Q.育児休業中の入所について、隣の市では育児休暇中であっても第一子を一時退所させずに継続して通所することができるが、当町では？

A.育児休業中の入所については児童福祉法及び通達により規定がされている。第二子出産による第一子の取扱いについてはそれらに基づき、第三子については事情により継続入所が可能であり、各家庭の事情により対処をしてきている。今後、話し合いの場を設けより良い方向を検討して行きたい。

［民生部長］

Q.女性の出産、子育てにかかる負担は大変なものであり、継続入所するしないを選択できるなど負担軽減できるよう検討していただきたいが？

A.児童福祉法上問題がないわけではないが、時代の要請に応えられるよう検討して行きたい。

［民生部長］

○出前講座について

Q.出前講座実施についての考えは？

A.出前講座としての位置付けはしていないが、類似の一例として行政区等の要望によりゴミ分別の説明会を実施したり、「さかいの町民講師」の中で申請により指導者の派遣を行なってきている。これまでの実施状況を検証するとともに、町民と協働の町づくりを推進する上で意義深いものであり、具体的な検討をして行きたい。

［総務部長］

意見書を提出

土地改良事業予算の確保を求める意見書

効率的で生産性の高い水田農業の基盤づくりや競争力のある産地育成のための畑地の基盤づくりなど、境町における土地改良事業は、町内農業基盤の構築に多大な役割を果たしてきた。また、土地改良事業を推進することにより、意欲的な農業の担い手が次々と育成されてきた。

こうした土地改良事業は、長年かかって築き上げた地元農家や集落の協力体制・自治体制によって進められるものであり、国土の保全や水源の涵養など多面的機能の発揮と相まって、住みよい農村地域を構築して行く上で大変重要な事業となっている。

しかしながら国は、平成22年度予算において土地改良事業予算を前年度比63・1％減と大幅に削減させた。こうした状況から、境町においては農業の現場で大きな混乱と不安が広まっており、土地改良事業の行く末如何によっては、耕作放棄地の増大や農業用施設の荒廃などが更に進むのではないかと、大変危惧している。

このため、国会並びに政府においては、境町の現状を踏まえ、現在進められている土地改良事業や今後新たに取り組むべき土地改良事業が計画どおりに実施できるよう、土地改良事業予算を復元することを強く要望する。

以上の内容の意見書を、9月定例会において全会一致で可決し、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出しました。

所管事務調査報告

総務委員会

当委員会では、8月11日・12日に住民に分かりやすい予算事業説明書「ここに使います　ことしの予算」を作成して、全戸に無料配付している長野県小布施町を視察研修してきました。

小布施町は、長野県北部に位置する人口約1万2千人の町で、先の平成の合併において単独運営を選択し行政のあり方について先進地視察を実施するなど見直しをしたことがきっかけとなり、さらに首長も情報公開の原則として住民との情報共有を重視したことから、予算事業説明書の作成が実現できたとのことです。

平成17年度より作成してから今年で5年目となり、原稿は役場各部署の各担当者が総合計画や実施計画を基本に作成し、従来の分かりにくい行政用語を極力避け、イラストや写真を取り入れ、住民にも分かりやすく表記がされております。作成部数は3，500部で、作成費に130万円、1冊に換算すると単価は370円で、毎年3月議会での議決後、4月下旬頃に全戸配付をしています。

既に、部門ごとに設置をされているまちづくり委員会などで活用され住民の反応も良いとのことです。

今後は、住民との協働のまちづくりが必至の時代でもあり、情報公開は民主主義の基本であることを考えると、町の情報を住民が共有することによって、町に対する理解や関心愛着が高まるのではないかと思います。

当委員会としても、今回の研修の成果を今後の住民との協働のまちづくりに活かして行きたいと考えております。

第4回定例会のお知らせ

平成22年第4回境町議会定例会が12月13日(月)から17日(金)までの5日間の会期日程で開催される予定です。

12月13日(月)	本会議（開会、提出議案上程・説明）
12月14日(火)	一般質問
12月15日(水)	一般質問
12月16日(木)	常任委員会
12月17日(金)	本会議（採決、閉会）

小布施町において

◎広報編集委員会

委員長　新谷　一男
副委員長　濵野　健司
委員　田山　文雄
委員　須藤　信吉
委員　渡邊　昇